



2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月4日

上場会社名 株式会社 ワキタ
 コード番号 8125 URL <http://www.wakita.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇田貞二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田俊夫
 四半期報告書提出予定日 2019年10月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6449-1901

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	39,066	12.8	2,615	24.5	2,692	23.4	1,653	27.7
2019年2月期第2四半期	34,636	6.8	3,461	15.1	3,514	13.8	2,288	9.2

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 1,376百万円 (30.6%) 2019年2月期第2四半期 1,984百万円 (18.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	31.84	
2019年2月期第2四半期	44.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第2四半期	133,783	92,966	69.2
2019年2月期	130,440	93,146	71.2

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 92,632百万円 2019年2月期 92,834百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		30.00	30.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,500	11.4	5,000	21.7	5,100	22.1	3,300	21.1	63.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	52,021,297 株	2019年2月期	52,021,297 株
期末自己株式数	2020年2月期2Q	86,966 株	2019年2月期	90,218 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	51,931,932 株	2019年2月期2Q	51,982,775 株

(注) 期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数(四半期累計)の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年3月1日～2019年8月31日）におけるわが国経済は、企業収益及び雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題等に見られる海外経済の不確実性とそれが及ぼす国内金融資本市場の影響については今後も留意が必要であります。また、中国経済の景気減速等と与える海外経済への影響など先行き不透明感が強まる状況となりました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、都心部における再開発工事や首都圏での大型プロジェクト及び鉄道インフラ関連工事等、民間工事の需要喚起から底固く推移いたしました。一方で慢性的な労働力不足や資材コストの高騰など、注視すべき状況が続いております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、390億66百万円（前年同期比12.8%増）、営業利益は26億15百万円（前年同期比24.5%減）、経常利益は26億92百万円（前年同期比23.4%減）、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は、16億53百万円（前年同期比27.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 建機事業

建機事業の販売部門では、企業の設備投資意欲を背景に順調に推移いたしました。賃貸部門でも、レンタル需要が底堅く推移いたしました。売上増加に伴う販売費及び一般管理費の増加を吸収することができず、当該事業全体の売上高・利益は増収減益となりました。

その結果、建機事業全体の売上高は、297億79百万円（前年同期比23.4%増）、セグメント利益は、16億78百万円（前年同期比17.2%減）となりました。

② 商事事業

商事事業では、遊技設備等の競争激化による受注の減少、また、採算の好転が見込まれないと判断した石材及び健康食品部門の事業を撤退したこと等により、当該事業全体の売上高・利益は減収減益となりました。

その結果、商事事業全体の売上高は、65億63百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益は、2億1百万円（前年同期比22.4%減）となりました。

③ 不動産事業

不動産事業では、賃貸部門の売上高は順調に推移いたしました。販売部門におきましては、前期影響を受けた収益物件の売却が当期では無かったこともあり、当該事業全体の売上高・利益は減収減益となりました。

その結果、不動産事業全体の売上高は、27億22百万円（前年同期比26.9%減）、セグメント利益は、7億34百万円（前年同期比37.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ33億42百万円増加し、1,337億83百万円となりました。これは主に、賃貸不動産の増加14億14百万円、のれんの増加19億69百万円、受取手形及び売掛金の増加19億47百万円並びに現金及び預金の減少48億17百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ35億21百万円増加し、408億16百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加15億19百万円、その他固定負債の増加12億1百万円などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億79百万円減少し、929億66百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少2億79百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想についての詳細は、本日（2019年10月4日）公表の「2020年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,183	18,366
受取手形及び売掛金	26,820	28,767
有価証券	4,983	6,589
商品	3,481	3,465
貯蔵品	76	91
その他	422	293
貸倒引当金	△114	△187
流動資産合計	58,854	57,386
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	8,753	8,929
賃貸不動産(純額)	38,824	40,238
土地	7,149	7,783
その他(純額)	4,296	5,349
有形固定資産合計	59,024	62,301
無形固定資産		
のれん	5,603	7,572
その他	235	243
無形固定資産合計	5,839	7,815
投資その他の資産		
投資有価証券	4,690	4,092
退職給付に係る資産	423	435
その他	1,821	1,971
貸倒引当金	△212	△220
投資その他の資産合計	6,723	6,278
固定資産合計	71,586	76,396
資産合計	130,440	133,783
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,810	16,329
短期借入金	2,520	2,600
1年内返済予定の長期借入金	36	118
未払法人税等	1,163	1,329
賞与引当金	288	358
その他	5,863	6,202
流動負債合計	24,684	26,939
固定負債		
長期借入金	434	425
役員株式報酬引当金	—	32
役員退職慰労引当金	10	11
債務保証損失引当金	165	165
退職給付に係る負債	159	198
その他	11,841	13,042
固定負債合計	12,610	13,876
負債合計	37,294	40,816

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,821	13,821
資本剰余金	16,627	16,627
利益剰余金	63,311	63,405
自己株式	△111	△107
株主資本合計	93,649	93,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,051	772
繰延ヘッジ損益	△10	△23
土地再評価差額金	△1,914	△1,914
退職給付に係る調整累計額	58	49
その他の包括利益累計額合計	△814	△1,114
非支配株主持分	311	334
純資産合計	93,146	92,966
負債純資産合計	130,440	133,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
売上高	34,636	39,066
売上原価	26,747	30,671
割賦販売未実現利益繰入額	184	180
割賦販売未実現利益戻入額	207	190
売上総利益	7,912	8,404
販売費及び一般管理費	4,450	5,789
営業利益	3,461	2,615
営業外収益		
受取利息	11	11
受取配当金	59	62
仕入割引	20	21
為替差益	1	0
投資事業組合運用益	10	11
その他	16	29
営業外収益合計	120	135
営業外費用		
支払利息	48	47
和解金	16	—
その他	2	10
営業外費用合計	68	58
経常利益	3,514	2,692
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	8	3
特別損失		
固定資産除却損	6	2
関係会社株式評価損	15	—
特別損失合計	21	2
税金等調整前四半期純利益	3,501	2,694
法人税、住民税及び事業税	1,137	1,134
法人税等調整額	60	△120
法人税等合計	1,198	1,014
四半期純利益	2,303	1,680
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	26
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,288	1,653

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
四半期純利益	2,303	1,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△340	△278
繰延ヘッジ損益	31	△15
退職給付に係る調整額	△9	△9
その他の包括利益合計	△318	△303
四半期包括利益	1,984	1,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,963	1,353
非支配株主に係る四半期包括利益	21	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,501	2,694
減価償却費	1,871	2,235
のれん償却額	150	330
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	80
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22	56
退職給付に係る資産及び負債の増減額(△は減少)	△20	△18
受取利息及び受取配当金	△71	△73
支払利息	48	47
有形固定資産除売却損益(△は益)	3	△1
投資有価証券評価損益(△は益)	15	—
投資有価証券売却・償還損益(△は益)	△5	—
売上債権の増減額(△は増加)	△455	△1,583
たな卸資産の増減額(△は増加)	292	22
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,340	1,435
賃貸不動産の売却による原価振替高	982	—
その他	178	226
小計	5,135	5,453
利息及び配当金の受取額	72	73
利息の支払額	△48	△47
法人税等の支払額	△1,283	△1,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,875	4,424
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	700	—
有形固定資産の取得による支出	△123	△2,074
有形固定資産の売却による収入	2	5
投資有価証券の取得による支出	△969	△43
投資有価証券の売却及び償還による収入	717	41
貸付けによる支出	△7	△1
貸付金の回収による収入	12	13
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,101	△2,266
その他	△305	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,074	△4,343
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△220
長期借入金の返済による支出	△105	△18
リース債務の返済による支出	△9	△11
設備関係割賦債務の返済による支出	△1,365	△1,682
自己株式の取得による支出	△91	△0
配当金の支払額	△1,556	△1,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,128	△3,487
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,326	△3,413
現金及び現金同等物の期首残高	32,780	28,167
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,454	24,753

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,128	6,782	3,725	34,636	—	34,636
セグメント間の内部 売上高又は振替高	133	7	—	141	△141	—
計	24,262	6,790	3,725	34,778	△141	34,636
セグメント利益	2,027	259	1,174	3,461	0	3,461

(注) 1 セグメント利益の調整額0百万円は、たな卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

建機事業セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、東日興産株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの発生額は2,748百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,779	6,563	2,722	39,066	—	39,066
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1	—	1	△1	—
計	29,780	6,564	2,722	39,067	△1	39,066
セグメント利益	1,678	201	734	2,614	0	2,615

(注) 1 セグメント利益の調整額0百万円は、たな卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

2019年3月1日付の組織変更に伴い、従来「商事事業」に属しておりましたプロダクト事業部を、第1四半期連結会計期間より「建機事業」に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づいて作成しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

商事事業セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、サンネットワークリブ株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの発生額は1,623百万円であります。

また、建機事業セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間より、株式会社泰成重機の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの発生額は675百万円であります。